

13. 近代世界の確立とアジア

写し用

欧米諸国の近代化

イギリス…16世紀、女王①の時代に、②会社の設立など

→海外発展の土台を築く

③を確立しようとする国王と議会が対立→1642年、

④革命→1688年、⑤→権利の章典を發布

アメリカ…イギリス本国による新税に抗議し独立を目ざす→1775年、独立戦争→1776年、

⑥発表→戦争に勝利し、アメリカ合衆国を立てる

フランス…国王ルイ14世のころ③を確立、18世紀、啓蒙思想の広まりフランスの⑦は『社会契約論』で人民主権を唱える→国王の専制政治や社会制度に対して批判が強まる

→1789年、⑧革命がおこる→国民議会在⑨を発表

⑩…イギリスで蒸気機関が新しい動力として利用され、工業の生産力が向上→社会や生活が大きく変化→安価な製品を世界中に輸出したイギリスは「⑪」とよばれる

・⑫主義…資本家と、賃金でやとわれて働く労働者による経済のしくみ

・⑬主義…生産手段の共有など平等な社会の実現を目ざす。マルクスなどが唱える

欧米諸国の発展とアジアの植民地化

アメリカ合衆国…南部と北部の州の間で対立が激化し、1861年、⑭戦争がおこる

→⑮大統領は奴隷解放を宣言、北部が勝利

ロシア帝国…19世紀中ごろ、クリミア戦争に敗れる→農奴解放令を出す

ドイツ…プロイセン王国の⑯首相が帝国として統一。富国強兵を進める

インド…②会社が進出。⑩のあと、安価な綿織物をイギリスが大量に輸出→インドの綿産業がおとろえる

→人々の不満が高まる→1857年、⑰がおこる

中国(清)…イギリスがインド産の⑱を密輸→清が厳しく取りしめる→1840年、⑲戦争がおこる

→イギリスの勝利→⑲条約

⑳→重税を課せられ生活が苦しくなった農民らが、1851年㉑を指導者とする㉒をつくる→外国軍や地方の有力者が編成した軍の力を借りた清により滅ぼされる

